

洛西ニュータウン創生推進委員会が発足！

～洛西ニュータウンまちづくりビジョンの実現に向けた取組がスタート～

昨年11月、洛西ニュータウンの今後の望ましいまちづくりのあり方と、その実現のための方策、重点的に取り組む内容などをまとめた「洛西ニュータウンまちづくりビジョン ～ もっと もっと 魅力あるまちを目指して～」が策定されました。

このまちづくりビジョンに示された「緑とゆとりを守り、各世代が支えあい心豊かに共生できるまち」の実現に向けて、住民が主体となって洛西ニュータウンのこれからのまちづくりを推進する組織がこの度発足しました。

6月29日に開催された第1回の会議では、新林学区自治連合会の勝本竹彦会長を委員長に選出するとともに、会の名称を「洛西ニュータウン創生推進委員会」と決定しました。

委員会では、まちづくりビジョンに掲げる4つの「戦略」を踏まえて、取り組むテーマの選定と、担い手、手法、スケジュール等について具体的に検討を行い、可能なものから実行に移すとともに、まちづくりの先進事例の調査や学習会・報告会の実施など様々な活動に取り組んでいく予定です。



洛西ニュータウン創生推進委員会

○委員

※勝本 竹彦	新林学区自治連合会
山田 隆義	境谷学区自治連合会
井上 愛子	福西学区自治連合会
杉浦 秀好	竹の里地域自治連合会
藤本 廣志	洛西ケーブルビジョン株式会社
平井 義昌	ラクセーヌ商店会
浅野 保夫	財団法人洛西ニュータウン管理公社
水口 重忠	京都市西京区役所洛西支所長

※ 委員長

○アドバイザー

安枝 英俊	京都大学大学院工学研究科助教
-------	----------------

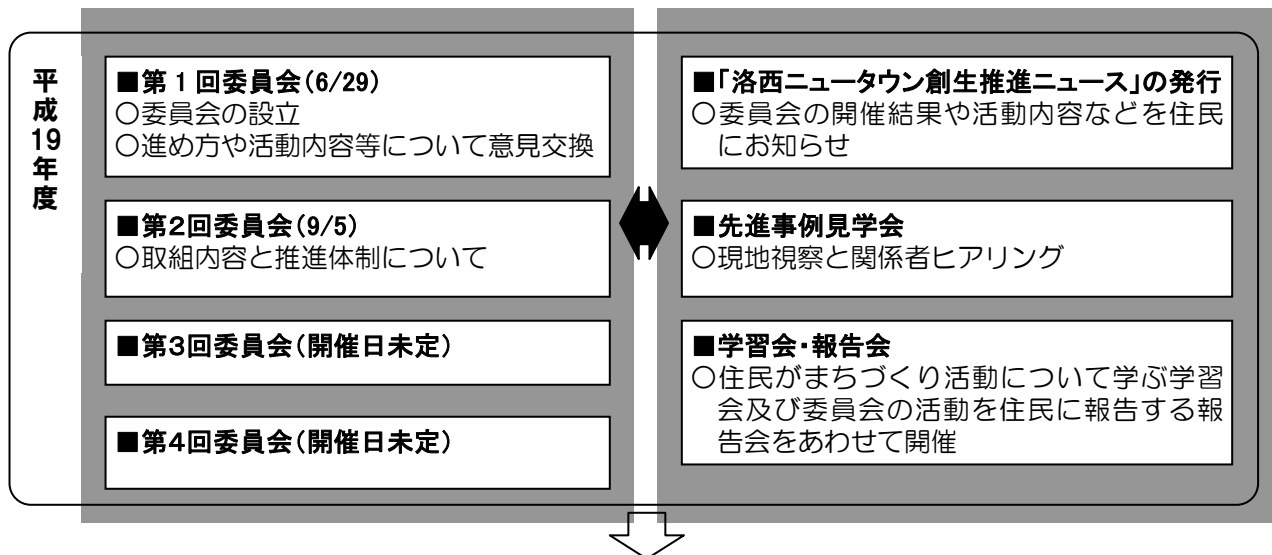
◆第1回委員会で出された主な意見

- ・委員会の役割は、ビジョンに掲げる4つの戦略について、具体的な取組を推進し、住民にその進捗状況がわかるように示していくことである。そのためのアクションプランづくりと、適切な進捗管理のもとで、できることから取り組むというスタンスで進めたい。
- ・まちづくりは、住民でできること、行政が行うこと、住民と行政と協働して行うことの3つで進める必要があるが、行政とのパートナーシップが大切であり、行政の十分なバックアップを期待する。
- ・委員会は、ニュータウン全体をどうするかについて具体的観点での自由な意見交換の場にしたい。
- ・各学区、地域でできること、ニュータウン全体でなければならないことと、課題を分けて取り組んだ方がよい。テーマによっては、ニュータウン周辺地域もあわせて考える必要がある。
- ・委員会の取組と連携して、サブセンターの活性化を進める必要がある。
- ・委員会は、テーマに応じたグループにわけて活動を進める必要がある。また、まちづくりを進めるリーダーの育成が大切である。
- ・洛西ニュータウンは基本的には相当な社会資本が投下されている。これらの社会資本とまちの変化とが対応しきれていないミスマッチ部分を解消することが必要である。

委員会の今後の進め方とスケジュール

今年度の委員会は、あと3回開催し、並行して、先進事例見学会や学習会・報告会を開催しながら、まちづくりの具体的な取組を進めていく予定です。なお、委員会は一般公開しており、傍聴できます。

第2回委員会は、9月5日（水）午後1時30分から洛西総合庁舎2階大会議室で開催しますので、興味のある方はぜひお越しください（定員は先着30名を予定）。



平成20・21年度も引き続き取組を進め、設立後3年間を目途に、委員会を住民主体の自立した、持続可能な組織へと発展・移行させていくことを目指します。

「洛西ニュータウンまちづくりビジョン」に掲げる4つの戦略とは？

洛西ニュータウンまちづくりビジョンは、今後向かうべきまちの目標を「緑とゆとりを守り、各世代が支えあい心豊かに共生できるまち」として、その実現に向けての課題、方策、重点的に取り組む内容などを取りまとめています。

この戦略的に取り組む内容として、次の4点を掲げており、今後、これらの戦略をベースとして、地域の実情に対応しながら、まちづくりビジョンを具体化していくことになります。

【戦略1】美しくゆとりあるまちなみを育て、次世代へ継承するための取組
～自然環境の保全と美しいまちなみづくり～

【戦略2】洛西のまち全体で子育てを支える取組
～子どもを育てる地域環境づくり～

【戦略3】熟年世代が洛西のまちで力を発揮する活動を広げる取組
～熟年世代が活躍できる地域づくり～

【戦略4】洛西のまちで誰もが快適に暮らせる環境づくりの取組
～身近な地域拠点と交通環境づくり～

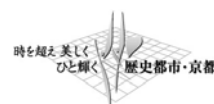
平成19年8月

洛西ニュータウン創生推進委員会

（事務局：京都市西京区役所洛西支所まちづくり推進課）

電話：075-332-9318

発行



京都市印刷物 第194214号